

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	国語	科目	国語総合	単位数	3
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	坂下真優
教科書	精選国語総合（大修館書店）		副教材	常用漢字オールクリア 五訂版、常用漢字オールクリア 徹底トレーニングノート、ライトパーフェクト演習（尚文出版）、新版六訂 カラー版新国語便覧（第一学習社）	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 学習のポイント

まず、授業中に先生の話している内容を聞いて理解することが一番大事です。板書はただ写すだけでなく、メモもとれるようになると復習がしやすくなります。教科書の本文は音読できるようにしましょう。重要な語句は授業でも説明しますが、自分で調べることも大事です。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○	○	
2 提出物	○	○	○	
3 授業態度			○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	30 %	40 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

1年生に引き続き、現代文も古典も扱います。せっかくの機会なので、自分には関係ないと思うのではなく、「なぜ？」という疑問や好奇心を持って本文を読んでみましょう。自分の少しの心がけだけで、様々な気づきが出てくると思います。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	尋ねあい——自由な主体への成長 絵仏師良秀 漁父之利	・随想・エッセイの読み方を学ぶ。 ・意欲を持って、他者と伝え合うことができる。 ・登場人物の行動に注目して読み、場面の展開を把握する。
	5	鏡	・故事成語を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・現代小説に親しみ、場面や心情の変化を表現に即して読み味わ
	6	をりふしの移り変はるこそ 先従隗始	・自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。 ・歴史物語のおもしろさを味わい、人間の生き方について考えを深
	7	まずは形から 雪のいと高う降りたるを	・自然科学分野の題材に興味をもち、身体と心の関係について正 み取る。 ・古文の基本的な敬語表現を理解する。
	8	唐代の詩(絶句)	・漢詩の形式や押韻などの表現について理解する。
	9	夢十夜 一つのメルヘン 自分の感受性くらい	・象徴性の高い小説に取り組み、その寓意を読み深める。 ・詩に親しみ、その形式や表現の特色を理解する。 ・作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。
	10	なよ竹のかぐや姫 唐代の詩(律詩)	・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 ・漢詩の形式や押韻、対句などの表現について理解する。
2 学期	11	空気を読む あづま下り	・筆者の主張を読み取り、現代のコミュニケーションのあり方に対 意識を深める。 ・今と昔の恋愛のあり方や考え方の違いを理解する。 ・本文中の和歌の役割について理解する。
	12	蛇足 俳句	・故事成語を読んで、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・俳句の修辞技法を理解し、作品を豊かに味わう。
	1	技術としての「教養」	・現代社会で必要とされる「教養」について、筆者の考えを読み取 の考えを深める。
3 学期	2	木曾の最期	・戦いの中での人間の心理の動きを読み取る。 ・軍記の文章表現の特色について理解する。
	3	良識派	・寓意的な内容をとらえ、ものの見方や考え方を広げたり深めたり

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	国語	科目	総合選択（国語表現）	単位数	2
学年	2	学科	普通科（S類）、総合ビジネス科、農業食品科、グリーン環境科	担当者	坂下真優
教科書	国語表現 改訂版（大修館書店）		副教材	新訂 実用国語セミナー（浜島書店）	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 学習のポイント

授業に意欲的に参加することが大事です。自分が話す内容をよく考えて準備するとともに、クラスメートの発表を聞くときは、聞く態度を整えよう。書くときも、漢字で書くべきところは漢字を使用し、丁寧な文字を書く習慣をつけていこう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○	○	期末考査、学年末考査
2 提出物	○	○	○	授業ワークシート、各種課題
3 授業態度			○	発表、音読、ワークシートへの取り組み、聞く態度
4 小テスト	○		○	漢字や語彙・知識に関する小テスト（副教材から出題）
5 出席状況			○	
6 資格・検定				
観点別割合	30 %	40 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

2年間、両校舎の生徒が一緒になって、ことばについて、様々な活動をとおして考えてもらいます。そのためにはまず、基本的な漢字やことばについての知識が必要です。ほぼ毎週小テストを実施しますので、必ず準備をして、身につけていってください。タブレット入力だけではなく、実際に自分の手で文字を丁寧に書くことも重視します。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	自己紹介をする クラスメートの紹介をする 整った文を書く	・相手の印象に残るような工夫を盛り込む(趣味・特技などで) ・クラスメートのよいところを伝え合う ・主述の関係、副詞の呼応、文章表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。
	5	わかりやすい文を書く ショートスピーチをしよう	①長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ②読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ①話すことの順序を考えて、わかりやすく話す。 ②話し手が話しやすい聞き方をする。
	6	文のつなぎ方	・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。
	7	絵や写真を見て書く 暑中見舞いはがきを書く	・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解し、わかりやすい文章を書く。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。
	8	読書感想文を書く	・自分自身の考えをまとめ、思索を深め、相手に伝わる文章を書く。
2 学期	9	言葉のストレッチ体操 絵本の読み聞かせ	①聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて、新たな発見をする。 ②コミュニケーションの楽しさを感じる ①選んだ絵本のよさが相手に伝わる朗読をする。
	10	絵本の読み聞かせ(つづき) 小論文を書く	②朗読の相互評価をし、よかったところを共有する。 ①作文との違いを理解し、自分の意見を筋道を立てて書く。 ②原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。
	11	反論を想定して書く	①自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ②反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。
	12	文章を読みとって書く 年賀状を書く	①文章の要旨をつかむための方法を理解する。 ②資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書く。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。
	1	自分を見つめる 効果的な自己PR	①経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ②他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。 ①自分の特徴を端的に表現したキャッチフレーズを作る。 ②事実や出来事をふまえて、効果的な自己PRをする。
3 学期	2	将来の自分を考えよう	①就きたい職業から逆算して、必要なことを調べる。 ②調べたことをふまえて、将来の自分について文章にまとめる。
	3	履歴書の書き方	履歴書の書き方を理解し、自分のこれからの学びを見つめ直す。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2年生）

教科	地歴・公民	科目	世界史A	単位数	2
学年	2	学科	普通科(A・S)、総合ビジネス科	担当者	渡り 義勝
教科書	明解 世界史A(帝国書院)		副教材	最新世界史図説 タペストリー(帝国書院)	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

- 世界の歴史の大まかな流れを地理や日本の歴史と関連させて理解する。
- 様々な文化や現代社会との歴史のつながりを考える。
- 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習のポイント

中学校の歴史で少し学んだ世界の歴史を中心に、地理・文化などと関連させながら、現代までの歴史のうつりかわりを学んでいきます。資料や映像などにも触れながら、「そうだったのか」や「なぜだろう」をたくさん発見してください。そして、歴史が自分の生活・未来に関係していることを見つけていきましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○	○	1期末、2中間、期末、学年末の計4回です。
2 提出物	○	○	○	プリントの提出や休暇課題などです。
3 授業態度	○	○	○	意見の発表や話しあい活動などを評価します。
5				
6 資格・検定				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

現代社会で起きていることは、世界の歴史が大きく関係しています。中学校社会や現代社会で学んだ歴史や制度が起きたのか、その理由は世界史の中にあります。これから生きる皆さんが「歴史を学んでよかった」と思えるように生の歴史を紹介しようと思います。関心のある出来事を常に見つけておきましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標（【 】は主な評価の観点）
1 学期	4	第2編3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 ・農業社会から工業社会へー産業革命 ・労働運動と社会主義の始まり ・アメリカ独立戦争	・産業革命によりどういった影響があったかを理解できる。【知技】 ・資本主義の確立による社会主義思想の誕生について理解し、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・アメリカの独立までの流れについて理解できる。【知技】
	5	・フランス革命 ・イギリスに挑戦したナポレオン ・大西洋をはさんだ革命 ・ウィーン体制	・フランス革命の流れについて理解し、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・ナポレオンの登場と退場までの流れについて理解できる。【知技】 ・ラテンアメリカ諸国の独立までの流れについて理解できる。【知技】 ・ウィーン体制について理解できる【知技】
	6	・イギリスの繁栄 ・二月革命と第二帝政 ・イタリアとドイツの統一 ・ロシアの近代化とバルカン半島	・産業革命後のイギリスの繁栄について理解し、現代に残る問題について考察できる。【知技】【思判表】 ・フランスにおける2度の革命で第二帝政に至る流れを理解できる。【知技】 ・イタリアとドイツの成立までの流れを理解できる。【知技】 ・ロシアの近代化とその影響について理解できる。【知技】
	7	・アメリカ合衆国の膨張 第4章 アジア諸国の変貌と近代の日本 ・世界市場の形成 ・オスマン帝国の衰退と西アジア	・アメリカ合衆国がどう発展していったのか理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・イギリスを中心とした世界の分業体制について理解できる。【知技】 ・オスマン帝国の弱体化による西アジアへの影響について理解できる。【知技】
	8	・南アジアの植民地化とインド帝国 ・東南アジアの植民地化	・インド帝国成立までの流れを理解できる。【知技】 ・東南アジアの植民地化の流れを理解できる。【知技】
2 学期	9	・清の動揺 ・明治維新と東アジア ・中国分割の危機と日本 ・アジア諸国の変革	・清の弱体化と改革について理解できる。【知技】 ・日本の近代化の流れを理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・世界の中国進出についての流れを理解できる。【知技】 ・アジア諸国の変革について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】
	10	第3編第1章 帝国主義の時代 ・帝国主義の時代 ・列強の世界政策 ・アジア太平洋地域の分割とロシア	・帝国主義の内容について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・アフリカへの列強の進出の流れについて理解できる。【知技】 ・太平洋地域の分割とロシアの進出の流れについて理解できる。【知技】
	11	第2章 急変する人類社会 ・大衆の登場と国民統合 第3章 世界戦争と平和 ・第一次世界大戦	・大衆社会と大衆文化の内容について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・第一次世界大戦の内容について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】
	12	・ロシア革命と大戦の終結 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・アメリカとヨーロッパ ・東アジアの民族運動	・ロシア革命の流れと終戦までの流れについて理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・大戦後の体制について理解できる。【知技】 ・アメリカの繁栄とヨーロッパの復興について理解できる【知技】 ・東アジアの民族運動について理解できる【知技】
	1	・アジアの独立運動とラテンアメリカ ・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の軍国主義と中国	・アジアの独立運動とラテンアメリカの革命について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・世界恐慌の流れについて理解でき、その後の対応についての考察ができる。【知技】【思判表】 ・ファシズムの台頭の流れについて理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】 ・日本の軍国主義への流れと中国進出について理解できる。【知技】
3 学期	2	・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 第4章 三つの世界と日本の動向 ・戦後世界の出発	・第二次世界大戦勃発の流れについて理解できる。【知技】 ・第二次世界大戦終結の流れについて理解できる。【知技】 ・戦後の東西対立について理解でき、現代への影響について考察できる。【知技】【思判表】
	3	・戦後の東アジア ・アジア諸国の独立 ・戦後の西アジア・アフリカ ・第三世界の台頭とラテンアメリカ	・戦後の東アジアの独立について理解でき、現代に残る課題について考察できる。【知技】【思判表】【主】 ・戦後のアジア諸国の独立について理解でき、現代に残る課題について考察できる。【知技】【思判表】【主】 ・戦後の西アジアやアフリカの独立について理解でき、現代に残る課題について考察できる。【知技】【思判表】【主】 ・戦後の第三世界の台頭やラテンアメリカの動きについて理解でき、現代に残る課題について考察できる。【知技】【思判表】【主】

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	数学	科目	数学A	単位数	2
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	徳永寛毅
教科書	新 高校の数学A(数研出版)		副教材	ポイントノート 数学A(数研出版)	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

○社会をよりよく生きる知恵を得ることにつながります。

○数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培います。

○場合の数と確率、整数の性質、図形の性質について、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図ります。

2 学習のポイント

○受け身ではなく自分たちで考え積極的に授業に参加するようにしましょう。

○授業中の疑問はそのままにせず、すぐに質問して理解するようにしましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		学習到達度合
2 提出物	○		○	提出習慣割合
3 授業態度	○	○	○	授業状況観察
4 出席状況			○	授業参加意欲
5 小テスト	○		○	
6				
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

数学が苦手という生徒もいるかもしれませんが、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりすることに努めましょう。また、授業内容を定着させるため、必ずその日のうちに復習しましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期		【課題考査】	
	4	第1章 場合の数と確率 第1節 順列・組合せ 1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 和の法則・積の法則	共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合について理解している。 補集合や和集合の要素の個数を求めることができる。 法則を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。
	5	4. 順列 5. 組合せ 確認問題 【中間考査】 第2節 確率 1. 事象と確率	様々な場合の数を、順列、円順列、重複順列に帰着させて求めることができる。 様々な場合の数を、組合せの考えを利用して求めることができる。
	6	2. 確率の計算 3. 独立な試行と確率 4. 条件付き確率 確認問題・問題	確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 独立な試行や反復試行の意味を理解し、その確率を求めることができる。 条件付き確率の定義を理解し、確率を求めることができる。
	7	【期末考査】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 1. 図形の基本 2. 角の二等分線と線分の比 3. 三角形の外心、内心、重心	図形の基本性質を理解し、それらを用いて角の大きさや辺の長さを求めることができる。 角の二等分線と線分の比の定理を理解し、それを用いて辺の長さを求めることができる。 三角形の外心、内心、重心の性質を理解している。
2 学期	8	【課題考査】 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形	円周角の定理を理解し、角の大きさを求めることができる。 円に内接する四角形の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。
	9	6. 円の接線 7. 方べきの定理 8. 2つの円 9. 作図 確認問題	接線と弦のつくる角の性質を理解し、角の大きさを求めることができる。 方べきの定理を理解し、線分の長さを求めることができる。 2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を理解している。 基本的な作図を行うことができる。また、その組合せて様々な作図ができる。
	10	【中間考査】 第2節 空間図形 1. 空間の直線、平面 2. 正多面体 問題	2直線の関係、2平面の関係、直線と平面の関係を理解している。 5種類の正多面体の辺や頂点の数を考察できる。
	11	第3章 整数の性質 1. 約数と倍数 2. ユークリッドの互除法 3. 方程式を満たす整数 【期末考査】	素因数分解を利用して、2数の最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 2元1次不定方程式を解くことができる。
	12	4. 2進法	2進法と10進法の関係と性質を理解し、2進法と10進法と10進法と2進法と変換することができる。また、10進法で表された数を2進法で表すことができる。
3 学期	1	【課題考査】 5. 分数と小数	整数でない有理数を小数で表すとき、有限小数か循環小数になることに興味をもち、理由を理解できる。
	2	確認問題・問題 【学年末考査】	
	3	課題学習	学んだ内容に関する課題について、主体的に学習し、数学のよさを認識する。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	橋本雄司
教科書	数研出版「新 科学と人間生活」		副教材	数研出版「新 科学と人間生活 整理ノート」 配布プリント 等	

1 学習の目標・・・この科目を学んでどんな力が身につくのか

- 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活とのかかわりについて理解を深める。
- 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習のポイント

- 自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活に影響を与え、どのような役割を果たしてきたかを学びましょう。
- 理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって実験を行うことを通して、科学に対する興味・関心を高めましょう。
- 自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な力と態度を身につけましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		中間考査・期末考査・学年末考査など
2 提出物	○		○	ノートや配布プリント、問題集の取り組みなど
3 実験	○	○	○	実験操作の手際や実験結果など
4 授業態度			○	自分の意見を伝えられたか、意見交換できたかなど
5				
6				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- 人間が自然と調和しながら持続可能な社会を構築するためにはどうすべきなのか、そのヒントを学びましょう。
- 科学を学ぶ意義や有用性を実感しましょう。
- 実験を行う際は事故防止のために担当職員の指示を守り安全に行いましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1編 物質の科学 第1章 金属, プラスチックとその再利用 ①金属	銅, 鉄, アルミニウムの性質と用途を関連付けて説明できる。 鉱石から金属を取り出す製錬について理解できる。 金属の腐食とその防止について理解できる。
	5	②プラスチック ③資源の再利用	プラスチックの性質と用途を関連付けて説明できる。 プラスチックの成分の違いや化学構造を理解できる。 プラスチックの燃焼時に発生する気体などの安全性について理解できる。 回収された資源が新しい製品につくりかえられることを理解でき
	6	第2編 生命の科学 第2章 微生物とその利用 ①さまざまな微生物	微生物の発見に関する歴史的な研究を通し, 微生物がどのような生物かを理解できる。
	7	②微生物と人間生活	微生物を分類することができる。 微生物が食品や医薬品の製造に利用されていることを理解できる。
	8		
2 学期	9	③生態系での微生物のはたらき 第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用	地球の物質循環の概要とそれに関わる微生物の役割を説明できる。 微生物が水の浄化などに利用されていることを理解できる。
	10	①光とは何か ②光の反射と屈折	光を分類することができる。 波長により色が違うことを理解できる。 光の性質を理解できる。
	11	③光の分散と散乱 ④光の回折と干渉	光の反射, 屈折を理解できる。 光の分散, 偏光を理解できる。 光の回折を理解できる。
	12	⑤電磁波の性質と利用	光を中心とした電磁波の性質を理解できる。 電磁波の利用について, 日常生活と関連付けて理解できる。
3 学期	1	第4編 地球や宇宙の科学 第1章 自然景観と自然災害 ①地球の外観	地球の外観を説明できる。
	2	②地形の成り立ち ③変動する大地	自然景観は, 大地の起伏を大きくする作用と大地を平坦にする作用関わっていることを説明できる。 火山や地震などの地球内部のエネルギーによる変動に着目して, それらの歴史として身近な自然景観の成り立ちを理解できる。
	3	④自然災害とその防災	身近な地域に潜在する自然災害の危険性を理解できる。 自然災害に対する防災について理解できる。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス

教科名	保健体育	科 目	体育	単位数	2
学 年	2	学 科	普通科(A・S)、総合ビジネス科	担当者	豊田、穴井、堤、鈴木
教科書	「最新高等保健体育改訂版」		副教材	なし	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- (1) 運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。
 (2) 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。
 (3) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。
 (4) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 (5) 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てる。
 (6) 健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 学習のポイント

- 体育では、体を動かすことが一番。まず授業に出席することを大切にしてください。
 ○授業では、安心・安全に活動することが大切です。活動する道具の準備や片付けを率先して行ってください。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○	○	○	
3 授業態度	○	○	○	
4 出席状況			○	
5				
6 資格・検定				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

- 体育は、実技を通しての総合評価です。運動することだけでなく、実施する種目道具の準備や片付け、仲間と切磋琢磨して運動する姿勢や態度等を総合的に判断して算出します。学年末の成績は、各学期の平均から算出します。体育の授業にまず出席をすることと安心・安全に運動に取り組めるよう、日頃の学校生活を頑張ってください。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実技	
1 学期	4		体育大会への取り組み 体づくり運動	基本的な体の動かし方を身に付けることができる。
	5	体育理論	・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 体づくり運動	仲間とペアや集団を作り、楽しく体を動かすことができる。 集団行動の隊列づくりを行うことができる。
	6		スポーツテスト 水泳	自己の今の現状の体力を知り、自己に合った体力向上の方法を理解することができる。 自分に合った球技を選択し、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わおうとする。 自己に適した泳法を身に付け、その効率を高めて泳ぐことができる。
	7		水泳	自分に合った球技を選択し、勝敗を競う楽しさや喜びを深く味わおうとする。 自己に適した泳法を身に付け、その効率を高めて泳ぐことができる。
2 学期	8			
	9		選択授業(球技)	技術などの名称や行い方、課題解決の方法などを理解し、 チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする
	10		選択授業(球技)	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、 健康の保持増進や体力の向上を図ることができるようにする
	11	体育理論		オリンピックがどのように変化してきたのかを説明できる。 技能がどのようなステップを経て上達するかを説明できる。 自分に合ったスポーツライフを設計することができる。
	12		陸上競技(長距離走)	陸上競技の学習に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切にしようすることができる
3 学期	1		陸上競技(長距離走)	記録の向上や競争の楽しさ喜びを深く味わうことができる。
	2		長距離走大会 体育大会への取り組み	練習を積んできた技能を十分に発揮して、目標を持って走ることができる。
	3		体育大会への取り組み	

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス

教科名	保健体育	科 目	保健	単位数	1
学 年	2	学 科	普通科(A・S)、総合ビジネス科	担当者	豊田、穴井
教科書	「最新高等保健体育改訂版」、「最新高等保健体育改訂版ノート」		副教材	なし	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。
- 2 健康について課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習のポイント

- 授業は、担当者が準備したプリントに従って進めていきます。自分で思ったことや考えていることなどを積極的にノートに記していきましょう。
- 授業中にしっかり話を聞いていれば、テストの点数はとれます。忘れ物なく、授業態度をしっかりとっていきましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		各学期末考査
2 提出物	○	○	○	保健体育ノートの記入
3 授業態度	○	○	○	授業中の態度、積極的に発言しようとしたか、考えようとしているか
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

- 各学期の成績は、定期考査+提出物+平常点で算出します。学年成績は、各学期の平均から算出します。定期考査だけいい点を取っても赤点を取ってしまうこともあります。日頃を頑張ってください。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性への関心・欲求と性行動	思春期における体の変化について説明できる。 性意識の男女差を具体例を挙げて説明できる。
	5	3 妊娠・出産と健康 4 避妊法と人工妊娠中絶	妊娠・出産の家庭における健康課題について説明できる。 人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。
	6	5 結婚生活と健康 6 中高年期と健康 1 学期期末テスト 7 医薬品とその健康	心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 年を取ることに伴う心身の変化には、どのようなものがあるか説明できる。 医薬品の正しい使用法について説明できる。
	7		
2 学期	8		
	9	8 医療サービスとその活用 9 保健サービスとその活用	さまざまな医療機関の役割について説明できる。 保健サービスの活用の例を挙げることができる。
	10	10 さまざまな保健活動や対策 社会生活と健康	民間機関、国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。
	11	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 2 学期末テスト	大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。
	12	3 環境汚染を防ぐ取り組み	こんにちの環境汚染の特徴について説明できる。
3 学期	1	社会生活と健康 4 ごみの処理と上下水道の整備	ごみの処理の現状や、その課題について説明できる。
	2	5 食品の安全を守る活動 6 働くことと健康	行政や生産・製造者による食品の安全のための対策について、例をあげて説明できる。 働く人の健康問題が、どのようにして変化してきたかを説明できる。
	3	7 働く人の健康づくり	余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2年生）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	1
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	由布 雅子
教科書	MOUSAⅠ（教育芸術社）		副教材	Music Note（啓隆社）	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 学習のポイント

音楽的知識や技術は学習（練習）すれば身につきます。思考力・表現力・判断力はこれまでの人生で培ってきた様々な経験を活かす事が重要です。以上のことを踏まえ、主体的に、そして自信を持って授業に臨んでください。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 実技試験	○	○		
2 提出物	○	○	○	小テストも含みます
3 授業態度			○	
4				
5				
6				
観点別割合	40 %	30 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

音楽に正解や間違いはありません。自信を持って自己表現を楽しみましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	・正しい歌唱法を身につける ダニーボーイ／島唄	・姿勢や身体の使い方,呼吸法,発声法などに気を付けて歌う。 ・曲想と歌詞の内容がどのようにかかわっているかを感じ取る。
	5	・ギター実技(1)	・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する。 ・一年次に学習した7つのコードをマスターする。
	6	・“CUPS”に挑戦しよう Clap, Tap with CUPS!／ソルフェージュ17～21	・リズムを正確に捉えるとともに,その重なり合いやつながりを意識して演奏する ・曲想に合った音色や奏法,パフォーマンスなどの技能を身に付け,表現を工夫する ・共通のイメージをもって,曲の特徴を生かした表現ができるよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏する
	7		
2 学期	8	・バイオリン実技	・バイオリンの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する。 ・音色,リズム,旋律,強弱など,音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し,表現を工夫して演奏する。
	9		
	10	・ギター実技(2) 自由曲	・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し,自分で弾きながら歌う。 ・必ずパレーコードを使用する楽曲を演奏する。
	11	・三線実技	・三線の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して演奏する。 ・音色,リズム,旋律,強弱など,音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解し,表現を工夫して演奏する。
3 学期	12	・ボディーパーカッションに挑戦 Prelude I	・ボディー・パーカッションの音色や奏法を工夫しながら演奏する。 ・共通のイメージをもって,アンサンブルにふさわしい表現を心がける。
	1	・ギター実技(3) 自由曲	・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し,自分で弾きながら歌う。 ・必ずパレーコードを使用する楽曲を演奏する。
	2		
	3	・舞台音楽を楽しもう	・バレエ,オペラ,ミュージカルそれぞれの表現の特徴を理解する。 ・場面の状況や登場人物の心情などが,声や楽器,身振りなどによってどのように表現されているかを理解する。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2年生）

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	1
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	本田 崇
教科書	高校生の美術 I		副教材		

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

- ①造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
 ②造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
 ③主体的に創造活動に取り組み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。

2 学習のポイント

- ①作品を自分の思い描いた通りに表現できるように、基礎的な知識や技術を身につけ、創意工夫しましょう。
 ②まずは美術作品の美しさや表現されたものを感じ取り、次に自分ならどういった表現をするかという視点で鑑賞し、アイデアを考えましょう。
 ③楽しんで制作し、作品ごと自分を好きになったり、他者の作品の魅力を感じたりして、多様な価値観の中で心豊かに生きることを大切にしよう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 作品制作	○	○	○	作品そのものだけでなく、様々な題材を通して、創意工夫しながら自分の表現をよりよいものに仕上げていく態度を評価します。
2 ワークシート	○	○	○	題材の知識理解や、発想・構想のアイデアスケッチも含みます。
3 鑑賞	○	○	○	対話型鑑賞を行い、様々な美術作品や他者の作品に触れ、自分の言葉で感じたこと、考えたことを共有します。
4 クロッキー	○	○	○	基礎描画力の向上と造形的な視点の獲得を目的に、継続的な課題として毎週行います。
観点別割合	30 %	40 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

美術の時間の一番の目的は「自由に表現すること」です。題材の目的を踏まえたうえで、ぜひあなたが造形的なよさや美しさ、面白さを感じ、好きだなど思うことを気持ちを込めて丁寧に創作してください。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	・オリエンテーション	・シラバスを確認しながら、年間の目標、美術の領域を理解する。
		○10分間クロッキー	・造形的に捉える視点を学び、継続して描画力を高める。【知・技】
		●対話型鑑賞	・美術作品などの見方や感じ方を深め、言語化する。【思・判・表】【主】
	5	・色彩基礎知識 ・ポスタリゼーション アクリルガッシュ絵の具で描く 減法混色の理解	・色彩の要素、性質、効果を復習し、理解する。【知・技】 ・アクリルガッシュ絵の具の特性を生かし、減法混色しながら水分量をコントロールし、均一に塗ることができる。【知・技】【主】
	6	配色、グラデーション ○●《隔週》	・ポスタリゼーションの特性などについて考え、平面的な造形表現をしながら4段階から5段階に区分けすることができる。【思・判・表】 ・人物と背景の効果的な配色を考え、明度差によるグラデーションをつくり、構図も含め、イメージに沿ったポスター表現になるように構想を練っている。【思・判・表】【主】
	7	☆鉛筆デッサン	・主体的に取り組み、よりよい作品にしようと向き合う態度がある。【主】
2 学期	8		
	9	・生命感や存在感を表す 動物の造形を考える 彫刻作品の鑑賞 マケット制作	・彫刻作品を鑑賞して、立体としてどういった視点をもって作られているか理解する【知・技】【鑑】
	10	○●《隔週》	・粘土の特性を生かし、骨格から動物の形体を考え、構想を練って創造的に表現している。【思・判・表】
			・主体的に取り組み、よりよい作品にしようと向き合う態度がある。【主】
	11	・スクラッチタイル ラトゥール、カラヴァッジョ鑑賞 作品模写 ハッチング、線描	・黒画用紙に白鉛筆で、ハッチングを用いて作品を模写し、面の移り変わりを意識しながら明暗を線描で表している。【知・技】【鑑】
	12	○●《隔週》 ☆鉛筆デッサン	・立体作品のときの学習を踏まえて、動物の形体を考えながら、タイルにハッチングで毛並みを描くことができる。【思・判・表】 ・主体的に取り組み、よりよい作品にしようと向き合う態度がある。【主】
3 学期	1	・アニメーションの手法 作品鑑賞	・ストップモーションアニメの仕組みを理解する。【知・技】【鑑】
		☆鉛筆デッサン	・作品から感じ取ったことを自分の言葉で表現する。【思・判・表】
	2	・生活を彩る模様 スクラッチタイル作品の額を制作 伝統的な文様、レリーフの表現	・世界と日本の伝統的な文様を見て、美術文化に親しむ。【鑑】 ・レリーフの表現、浮彫を理解する。【知・技】
			・スクラッチタイル作品に合わせて構成を考え、木枠の模様の構想を練っている。【思・判・表】
	3	○●《隔週》	・主体的に取り組み、よりよい作品にしようと向き合う態度がある。【主】

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	1
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	杉本 莉望
教科書	書道 I (東京書籍)		副教材	なし	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせた学習活動によって、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 学習のポイント

自らの直感に基づき対象となる作品や古典の書美について直観的な把握を試み、得られた感想は何に由来するものか、用具用材、構成、または作者や時代背景といった様々な要素について考え、分析する姿勢で取り組みたい。書の表現は多様なので、まずは古典のよさや美しさを味わい、臨書によって技法や表現原理を学ぶ。そして、自分が表現しようとする制作の意図に応じて、用具用材や運筆等を工夫し、書をとおして自己表現をしていく。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査				
2 提出物	○	○	○	作品、プリント、授業ファイルを含む。
3 授業態度	○	○	○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	30 %	30 %	40 %	

4 担当者からのメッセージ

定期考査は実施しません。授業での取り組み、提出された作品をもとに評価します。作品制作が中心の授業となりますので積極的に取り組んでください。書の奥深い魅力を味わうには鑑賞力を磨くことも大切です。古典や様々な作品の鑑賞をとおして、幅広い表現を味わい、自己の作品制作に生かしていきましょう。また、授業で制作した作品や使用したプリントは専用のファイルで各自でしっかりと保管して下さい。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	①オリエンテーション 書道Ⅰについて ②隷書の学習 ・隷書の成立 ・隷書の特徴 ・「礼器碑」の学習と臨書 ・隷書での創作	・隷書に関心を持ち、歴史的背景や様々な古典の書風と特徴を理解することができる。【知・技】【主】 ・隷書の基本的な用筆・運筆法や字形などの特徴を捉え、臨書することができる。【知・技】【思・判・表】 ・隷書の様々な書風を理解し、表現することができる。【知・技】【思・判・表】【主】
	5		
	6	③篆書の学習 ・篆書の成立 ・篆書の特徴 ・「石鼓文」の学習と臨書 ・篆書での創作	・篆書に興味を持ち、歴史的背景や様々な古典の書風と特徴を理解することができる。【知・技】【主】 ・篆書の基本的な用筆・運筆法や字形などの特徴を捉え、臨書することができる。【知・技】【思・判・表】 ・篆書の様々な書風を理解し、表現することができる。【知・技】【思・判・表】【主】
	7	④篆刻の学習 ・篆刻について ・刻す ・押印 鑑賞	・篆刻のよさや美しさを感じ、篆書の特徴を捉え、意図に基づいて構想し表現を工夫することができる。【知・技】【思・判・表】 ・篆刻の表現や形式などについて幅広く理解するとともに、構成を生かした表現を身に付けるようにする。【知・技】【主】
2 学期	8		
	9	⑤草書の学習 ・草書について ・「書譜」の学習と臨書	・草書に関心を持ち、各古典の書風と特徴を理解できる。【知・技】【主】 ・各古典の字形や用筆、線質などの特徴を捉え、臨書することができる。【知・技】【思・判・表】 ・草書の様々な書風を理解し、表現することができる。【知・技】【思・判・表】【主】
	10	⑥漢字創作の学習 ・既習古典をもとに漢字作品を創作する	・古典との共通点や相違点を把握したうえで、意欲的に取り組むことができる。【知・技】【主】 ・臨書活動で学んだ筆法や運筆、余白や紙面構成などの表現を工夫することができる。【思・判・表】 ・他者の作品を鑑賞し、他者の作品の良いところを見つけることができる。【思・判・表】【主】
	11	⑦仮名の学習	・仮名の書が、時代や文化と深く関わりながら変化してきたことを理解できる。【知・技】 ・線質や字形、連綿、墨色の变化、紙面構成などを理解し、表現を工夫することができる。【知・技】【思・判・表】 ・臨書活動で学んだことを生かし、創作することができる。【思・判・表】【主】
	12		
3 学期	1	⑧漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の表現に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの達成感を味わうことができる。【思・判・表】【主】 ・感興や意図に応じた表現を構想し、工夫することができる。【知・技】【思・判・表】 ・他者の作品を鑑賞し、他者の作品の良いところを見つけることができる。【思・判・表】【主】
	2		
	3		

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	英語	科目	コ英Ⅱ	単位数	3
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	島崎 久美
教科書	LANDMARK Fit English Communication II		副教材	Bricks I (いづな書店)	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

一定の支援を活用すれば、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりできるようになる。また、それらに関する自分の気持ちや考えを、多様な語句や文を用いて書いたり話したりできるようになる。

2 学習のポイント

①聞き取った内容・読み取った内容を基に考えをまとめたりする。②情報や考え、気持ちなどを、理由や根拠とともに書いたり話したりして伝えることができるように。③基礎的・基本的な英単語を習得する。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○	○	○	
3 授業態度	○	○	○	
4				
5				
6 資格・検定	○		○	
観点別割合	50 %	20 %	30 %	

4 担当者からのメッセージ

「読み取ったり聞き取った内容をもとに、自分の考えをまとめる力」や、「書いたり話したりする際に、自分の意見の根拠や理由とともに述べる力」がこれまで以上に重要となります。普段の学習全般において、これらを意識しておきましょう。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	オリエンテーション Lesson1 I'm the Strongest!Part1-2	読むこと:国枝選手の気持ちの変化を、時系列とともに読み取る。
	5	Lesson1 I'm the Strongest! Part3 Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle Part1-2	書くこと:自分の選んだパラアスリートについて、調べたことを書く。 聞くこと:テッセイの仕事の手順について聞きとる。 書くこと: 話すこと:自分の選んだ職業について、調べた内容を発表する。
	6	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle Part1-3	読むこと:セントバーナードがスイス人に愛される理由を正確に読み取る。 聞くこと: 書くこと: 話すこと:
	7	Lesson3 Saint Bernard dogs Part1-2	読むこと: 聞くこと: 書くこと:日本の守るべき自然環境や文化について、調べたことを書く。 話すこと:
	8	Lesson3 Saint Bernard dogs Part3	読むこと: 聞くこと:
	9	Lesson3 Saint Bernard dogs Part4 Lesson4 Chanel's Style Part1-2	読むこと:シャネルの人生の出来事を、時系列に沿って正確に読み取る。 聞くこと: 書くこと: 話すこと:
	10	Lesson4 Chanel's Style Part3-4	読むこと: 聞くこと: 書くこと: 話すこと:自分で選んだ偉人について、スピーチをする。
2 学期	11	商業英検対策	読むこと:受験級における合格点を取得する力をつける。 聞くこと:受験級における合格点を取得する力をつける。
	12	商業英検対策	読むこと:受験級における合格点を取得する力をつける。 聞くこと:受験級における合格点を取得する力をつける。
3 学期	1	Lesson5 Science of Love Part1-3	読むこと: 聞くこと:恋愛を引き起こす原因について、各説の概要を聞き取る。 書くこと: 話すこと:
	2	Lesson5 Science of Love Part4 Lesson6 Gaudi and His Messenger Part1-2	読むこと:ガウディと外尾さんの人生について、時系列に沿って読み取る。 聞くこと: 書くこと:自分が支持する説について、支持する理由を添えて書く。 話すこと:
	3	Lesson6 Gaudi and His Messenger Part3-4	読むこと: 聞くこと: 書くこと: 話すこと:海外の行ってみたい観光地について、理由を添えて述べる。

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	食品製造	単位数	2
学 年	2	学 科	総合ビジネス科	担当者	河野
教科書	実教出版「食品製造」		副教材		

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- 食品製造に必要な知識と技術を習得し、食品の特性と加工方法及び貯蔵の原理を理解する。
- 品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 学習のポイント

- 穀類の加工から野菜の加工まで、実習を中心にさまざまな製品を製造します。座学で知識を学び、ポイントをしっかりとおさえて、実習に取り組む姿勢を持ちましょう。衛生面（安全・安心）を常に意識しましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力、人間性	備考
1 定期考査	○	○		期末考査、学年末考査
2 提出物	○		○	毎時のレポート、ファイルの提出
3 授業態度	○	○	○	授業・実習中の態度、忘れもの等
4 出席状況				
5 技術・製品製作	○	○		
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

- 農産物加工を1年間を通して学習します。実習ではクッキーやパンなどの菓子類から、ジャム、ケチャップ等様々な加工品を製造します。安全でおいしい製品が作れるよう、服装、手・指のケア、爪を切るなど衛生面に十分注意して実習を行いましょう。

5 学習計画

学期	月	学習单元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	・グルテン形成について	グルテン形成実験	・菓子製造における小麦粉の種類によるグルテン形成の について、理解できる。
	5	・絞り出しクッキーについて ・型抜きクッキーについて	絞り出しクッキー 型抜きクッキー	・クッキーの歴史や概要について、理解できる。 ・絞り出しクッキーの製造方法を理解し、製造することが
	6	ロールパンについて あんパンについて	ロールパン あんパン	・ロールパンの歴史や概要について、理解できる。 ・あんパンの歴史や概要について、理解できる。 ・ロールパンの製造方法を理解し、製造することができ ・あんパンの製造方法を理解し、製造することができる。
	7	・穀類の加工について ・メロンパン	メロンパン	・穀類の種類とその特徴について、理解できる。 ・穀類の加工原理について理解できる。 ・メロンパンの歴史や概要について、理解できる。 ・メロンパンの製造方法を理解し、製造することができる。
	8			
2 学期	9	・豆類・種実類の加工について ・みたらし団子について ・パウンドケーキについて	みたらし団子 パウンドケーキ	・大豆の特徴と加工のしくみについて、理解できる。 ・みたらし団子の歴史や概要について、理解できる。 ・パウンドケーキの歴史や概要について、理解できる。 ・みたらし団子の製造方法を理解し、製造することができ ・パウンドケーキの製造方法を理解し、製造することがで
	10	・マドレーヌについて	マドレーヌ(別立て) マドレーヌ(共立て)	・マドレーヌの歴史や概要について、理解できる。 ・マドレーヌの製造方法について、別立て法と共立て法の 2つの方法について理解し、製造することができる。
	11	・いも類の加工について ・シフォンケーキについて ・スイートポテトについて	シフォンケーキ スイートポテト	・いも類の種類と加工特性などについて、理解できる。 ・シフォンケーキの歴史や概要について、理解できる。 ・スイートポテトの歴史や概要について、理解できる。 ・シフォンケーキの製造方法を理解し、製造することがで ・スイートポテトの製造方法を理解し、製造することができ
	12	・野菜類の加工について ・シュークリームについて	シュークリーム	・野菜類の特徴や加工原理について、理解できる。 ・シュークリームの歴史や概要について、理解できる。 ・シュークリームの製造方法を理解し、製造することがで
3 学期	1	・パイ生地について ・チョコパイについて	パイ生地 チョコパイ	・パイ生地の歴史や概要について、理解できる。 ・パイ生地の製造方法を理解し、製造することができる。 ・チョコパイの製造方法を理解し、製造することができる。
	2	・果実類の加工について ・大福	大福	・果実の特徴や加工原理について、理解できる。 ・大福の歴史や概要について、理解できる。 ・大福の製造方法を理解し、製造することができる。
	3	・ベイクドチーズケーキに ついて	ベイクドチーズケーキ	・ベイクドチーズケーキの歴史や概要について、理解でき ・ベイクドチーズケーキの製造方法を理解し、製造するこ とができる。

令和4年度 阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎 シラバス

教科名	農業	科目	生物活用	単位数	2
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	宮越和美
教科書	野菜(実教出版)		副教材	プリント	

1 学習の目標…この教科を学んでどんな力が身につくのか

- ①農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- ②農業の社会的な意義や役割について理解する。

2 学習のポイント

- ・授業を大切に。メモ(黒板・話の内容、自分の感想や疑問点)を取りながら参加すること。学んだことを人に話せると良いです。
- ・実習(総合実習・当番)も関連しています。考えながら(1w1h1n)実習に取り組むことで、知識・技術の定着につながります。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	学びに向かう力、 人間性	備考
1 定期考査	○	○	○	
2 提出物	○	○	○	
3 授業態度		○	○	
4 実習	○	○	○	
5				
6 資格・検定				
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

私たちの生活と生き物がどのように関わっているか、「生物活用」を学んでいることを思い出し、注目してみてください。草花栽培や野菜栽培における基礎的な知識を身に付け、実技や栽培管理方法を学びましょう。1年後、身の回りの生き物や農業をより身近に感じられることを願っています。

5 学習計画

学期	月	学習単元		学習の到達目標
		座学	実習	
1 学期	4	○生物活用の意義と役 1 生物活用の意義と役	管理実習 農場案内・観察	○園芸作物や社会動物の活用の重要性和生物の活用が もたらす人間への効用について理解できる。
	5	2 植物・園芸と人間生	計画 栽培開始	○園芸療法や動物介在療法について興味・関心をもち、 生物を活用した療法とその今日的な現状と課題について 理解できる。
	6	3 動物と人間生活	栽培管理	↓
	7	○生物を活用した療法 1 生物を活用した療法		↓
2 学期	8			
	9	2 園芸療法		○我が国や海外の園芸療法の現状や役割について理解 できる。
	10	○園芸作物の栽培と活用 1 草花の栽培と活用 2 野菜・ハーブの栽培 用		○草花の種類や特性について理解できる。 ○花壇や室内装飾等の園芸デザインについての基礎的 な知識を学習し、各々の特徴やその活用方法について理 解できる。
	11	↓		○野菜・ハーブの種類や特性について理解できる。 ○野菜・ハーブの栽培や活用についての基礎的な知識を 学習し、各々の特徴やその活用方法について理解でき る。
	12	・GAPについて		○GAPについて理解できる。
3 学期	1	○生物活用の実際 1 交流活動の実施		○園芸作物や社会動物を活用した交流活動の流れやそ の対象者等について理解できる。
	2	↓		○園芸作物や社会動物を活用した交流活動の具体例を 理解できる。 ↓
	3	↓	↓	↓

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	商業	科目	マーケティング	単位数	3
学年	2	学科	総合ビジネス科	担当者	西田 浩
教科書	マーケティング(7 実教 商業304)		副教材	マーケティング 問題集 準拠	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

マーケティングが目指すものは、お客様を理解し、製品とサービスをお客様に合わせて、おのずから売れるようにすることです。お客様が何を望んでいるのかを考え、競争相手より優れた商品・サービスが提供できる力をつけます。

2 学習のポイント

実例をあげながら学習をすすめていきますが、考査は教科書と問題集から出題します。暗記するものが多いですが、日頃から授業中の暗記を心がけて学習しましょう。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○			
2 提出物		○		
3 授業態度			○	
4				
5				
6 資格・検定				
観点別割合	80 %	10 %	10 %	

4 担当者からのメッセージ

マーケティングを勉強すると、テレビコマーシャルやネットのバナー広告やリスティング広告が楽しくなります。マーケティング活動は世の中に溢れています。商業経済検定2級（マーケティング）にも全員で挑戦します。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1章 現代市場とマーケティング ①現代市場の特徴 ②マーケティングの概要	現代市場メカニズム・消費の動向・生産の動向・流通の動向、マーケティングの内容と手順・発展について理解する。+J35:Q60
	5	第2章 ①市場調査の意味 ②市場調査の手順 ③市場調査の方法	市場調査の必要性・内容、市場分析・予備調査・本調査、調査方法の決定・資料収方法の決定について理解する。
	6	第3章 ①消費者行動と購買 ②購買意思決定過程 ③製品のライフサイクルと普及	消費者による問題解決行動としての購買・購買とマーケティング活動・購買意思決定に影響を及ぼす要因。問題意識・情報探索と情報収集・選択肢の評価・購買行動・消費・使用と購買後の評価、製品のライフサイクル。以上について理解する。
	7	第4章 ①販売計画と販売予測 ②販売計画の立案・実施・統制	販売計画の必要性・販売予測。販売計画の立案、販売計画の実施と統制。以上について理解する。
2 学期	8		
	9	第5章 ①製品計画の概要 ②製品のミックスと製品政策	商品計画の内容・製品計画の重要性・内容・流通業者による商品開発・製造物責任と環境保全について理解する。
	10	第6章 ①仕入計画 ②商品管理	仕入れ計画の意味・手順・内容、商品管理の意味・在庫管理・商品の物的管理について理解する。
	11	第7章 ①販売価格の決定 ②価格戦略	販売価格の意味・種類と構成・価格決定・価格決定に影響する要因、価格戦略の意味・卸売価格政策・価格維持・安定政策・小売価格政策・新製品を発売する際の価格政策・小売価格表示。以上について理解する。
3 学期	12	第8章 ①販売経路の設定 ②販売経路の強化	販売経路と販売経路政策の意味・販売経路の形態、販売経路を設定する基準、販売経路政策の種類。販売経路の強化の方向性・系列化・短縮化・効率化・多様化・流通業者の立場と対応。以上について理解する。
	1	第9章 ①販売促進の重要性 ②広告	販売促進の役割・内容・進め方。広告の意義・計画と実施・主体と内容。広告のメディア・PR活動とパブリシティ戦略。以上について理解する。
	2	③販売員活動 ④ブランド	販売員活動の特質・手順・販売員に必要な資質と知識・販売員の管理について理解する。
	3	⑤信用販売 ⑥その他の販売促進	信用販売の意義・種類・難しさ、クレジットカードによる販売、社会的問題への対応。ソーシャルメディアの活用・ビッグデータの活用・販売サービスの実施・イベントの開催。以上について理解する。

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	商業	科目	原価計算	単位数	3
学年	2年	学科	総合ビジネス科	担当者	永野 誉
教科書	原価計算		副教材	全商簿記実務検定問題集 原価計算Ⅰ級	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得。原価の概念についての理解。また、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度。

2 学習のポイント

工場の簿記を学習します。材料から製品が完成し、販売するまでの流れを簿記で表します。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○		○	
3 授業態度		○	○	
4				
5				
6 資格・検定	○		○	
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

工場での材料から製品になる工程、従業員の方が働いている様子を想像できると学習しやすいと思います。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算 第2章 原価計算のあらまし	これから学ぶ原価計算の意義や基礎知識が取得できたか
	5	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算と記帳 第5章 労務費の計算と記帳 第6章 経費の計算と記帳	材料費・労務費・経費の費目や区分が理解できたか
	6	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算	個別原価計算が理解できたか
	7	第8章 部門別個別原価計算	部門別個別原価計算が理解できるかどうか
2 学期	8	1学期の復習	夏季の宿題に取り組めたか
	9	第9章 総合原価計算	単純総合原価計算・等級別原価計算・組別原価計算が理解できたか
	10	第10章 工程別総合原価計算	工程別原価計算が理解できたか
	11	第4編 製品の完成・販売と決算 第11章 製品の完成と販売 第12章 決算と本社・工場間の取引	製品の完成後の取引・本社工場間の取引が理解できたかどうか
	12	第5編 原価情報の活用 第13章 標準原価計算	標準原価計算の計算方法が理解できたか
3 学期	1	第14章 直接原価計算	直接原価計算の計算方法が理解できたか
	2	諸作表について	これまで学習してきた取引の作表を作成できるかどうか
	3	製造管理分析について	製造工程において原価管理の分析ができるかどうか

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ	単位数	4
学年	2年	学科	総合ビジネス科	担当者	太田吉彦
教科書	新財務会計Ⅰ		副教材	最新段階式 簿記検定問題集	

1 学習の目標…この科目を学んでどんな力が身につくのか

3級で学んだ簿記の基本的な知識技術をさらに高め、個人企業から株式会社の会計の基礎を学び、企業会計とその仕組みを読み取る能力が身につく。

2 学習のポイント

レベルが上がるが、3級の基礎は必要ですので、3級と2級の違いに気をつけながら、新しい知識と技術を習得し、企業会計を読み解けるようになる。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○		○	
3 授業態度		○	○	
4				
5				
6 資格・検定	○		○	
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

簿記が得意な人もそうでない人も、もう一度簿記を学ぶ(学び直す)意識を持って取り組んで欲しい。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業と会計 第2章 企業会計制度と会計法規	これから学ぶ会計分野の基礎知識が取得できたか
	5	第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表のあらまし 第4章 資産の意味・分類・評価 第5章 流動資産(PART1) 当座資産	貸借対照表の意味や役割を理解できたか
	6	第6章 流動資産 (PART2) 棚卸資産・その他の流動資産 第7章 固定資産 (PART1) 有形固定資産 第8章 固定資産 (PART2) 無形固定資産	資産の細かい分類や意義など理解できたか
	7	第9章 固定資産 (PART3) 投資その他の資産 第10章 負債の意味と分類 第11章 流動負債 第12章 固定負債 第13章 純資産の意味と分類	負債の意味や分類ができるかどうか
2 学期	8	第14章 資本金	夏季の宿題に取り組めたか
	9	第15章 資本剰余金 第16章 利益剰余金 第17章 自己株式 第18章 貸借対照表の作成	資本の役割や意義など理解できたか
	10	第3編 損益計算書 第19章 損益計算書のあらまし 第20章 損益計算の意味と基準 第21章 売上高 第22章 売上原価, 販売費 及び一般管理費	損益計算書の仕組みや意味を理解し、作成することができるか
	11	第23章 営業外収益・営業外費用 第24章 特別利益・特別損失 第25章 損益計算書の作成 第26章 その他の財務諸表 第4編 財務諸表の活用	これまでの学びを系統立てて、整理し、 帳簿記入や思考が身についているか
3 学期	12	第27章 財務諸表のディスクロージャー 第28章 財務諸表分析 第5編 連結財務諸表 第29章 連結財務諸表のあらまし	やや難易度は上がる内容を十分理解できたか
	1	第30章 連結財務諸表の作成 PART1 第31章 連結財務諸表の作成 PART2	やや難易度は上がる内容を十分理解できたか
	2	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	これまでの学びを系統立てて、整理し、 帳簿記入や思考が身についているか
	3	発展的学習 全商簿1級会計の学習	2級の範囲を十分修得し、さらなる知識を学ぼうとしているか

令和4年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 シラバス（2・3年生）

教科	商業	科目	ビジネス情報	単位数	4
学年	2年	学科	総合ビジネス科	担当者	中西正子
教科書	ビジネス情報		副教材	全商 情報処理検定模擬問題集 ビジネス情報 1級	

1 学習の目標・・・この科目を学んでどんな力が身につくのか

情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得させる。また、ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。

2 学習のポイント

ビジネス情報になると、専門的な基礎知識を習得したり、これまで学習してきた表計算ソフトの関数を組み合わせるなど大変難しくなります。また、後半ではプログラミングを学習するなど考える力が必要となるので、諦めずに最後まで考えることが大切なことになります。

3 評価の基準および観点別割合

評価の観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	備考
1 定期考査	○	○		
2 提出物	○		○	
3 授業態度		○	○	
4				
5				
6 資格・検定	○		○	
観点別割合	50 %	30 %	20 %	

4 担当者からのメッセージ

難しいですが、最後まで考えることで、成長できます。

5 学習計画

学期	月	学習単元	学習の到達目標
1 学期	4	第1章ビジネスと情報 第1節情報化社会とビジネス 第2節ネットワークとビジネス	これから学ぶ情報化社会の基礎知識が取得できたか
	5	第2章情報通信ネットワークの活用 第1節ネットワークの基礎 第2節ネットワークの管理と構築	情報通信ネットワークの意義や役割を理解できたか
	6	第3節サーバ管理 第4節セキュリティ管理	ネットワークサーバやそのセキュリティ管理など理解できたか
	7	第3章表計算ソフトウェアの活用 第1節集計処理	関数の組み合わせができる、組み合わせられた関数から処理結果が理解できるかどうか
2 学期	8	1学期の復習	夏季の宿題に取り組めたか
	9	第2節オペレーションズリサーチの基礎 第3節ビジネス計算	ビジネスにおける計算処理など理解できたか
	10	第4節手続きの自動化 第4章データベースソフトウェアの活用 第1節ビジネス情報とデータベース	マクロプログラムの意味を理解し、作成することができるか
	11	第2節データベースの利用 第3節SQLの操作	データベースの基礎知識やSQLを理解できたかどうか
	12	第5章ソフトウェアを活用したシステム開発 第1節システム開発の基礎	システム開発の基礎知識や開発方法が理解できたか
3 学期	1	第2節アルゴリズムの基礎	プログラミング的思考のアルゴリズムが理解できたか
	2	第3節表計算ソフトウェアによる開発	表計算ソフトを活用し、マクロプログラムを活用できるかどうか
	3	第4節データベースソフトウェアによる開発	表計算ソフトを活用し、データベースとしてシステム開発ができるかどうか